

農地利用の最適化の推進に関する申し合わせ決議

本県の農業委員会組織は、地域における貴重な資源である農地の確保と有効利用を図り、将来に引き継いでいくため、「愛知の農業委員会活動活性化運動」に取り組み、地域農業の持続的な発展に向けて邁進している。

令和5年4月に農業経営基盤強化促進法等の改正法が施行され、市町村は地域農業の将来のあり方を示した「地域計画」を令和7年3月末までに策定することとなり、農業委員会は「目標地図」の素案作成や地域の話合いの場への参画などの重要な役割を担うこととなった。

また、農業委員会活動の効率化に向けて、農業委員会サポートシステムやタブレット端末の活用などのデジタル化への対応も求められている。

こうした役割や期待に応えるべく、農業委員会は、「地域計画」に係る取組について、市町村と一体となって推進するとともに、農地中間管理事業を通じた農地の集積・集約化の更なる促進や、意欲ある担い手の確保に向けた環境整備などの農地利用の最適化に資する諸活動を精力的に進めていく必要がある。

そこで、農地利用の最適化の推進に関して、下記事項について申し合わせ、決議する。

記

1 農業委員会の体制整備

- ・農業委員及び農地利用最適化推進委員のそれぞれの役割を明確に定めた上で、情報共有を図り、密接に連携しよう
- ・「農地利用最適化推進指針」をもとに、地域の実情を踏まえた実効性の高い「活動計画」を策定し、全ての委員が一体となった取組を進めよう
- ・市町村関係部局、県農林水産事務所、農地中間管理機構、JA、土地改良区及び担い手などの関係機関・団体等との連携及び情報の共有化を一層進めよう
- ・女性や若い農業者の委員登用に向けた働きかけを引き続き行うとともに、農業委員会活動に対する女性や若い農業者の関心を高める取組を進めよう

2 農業委員及び農地利用最適化推進委員による現場活動の展開

- ・現場での活動を着実に進めていくため、「農地の見守り活動」や「農家への声掛け活動」等の日常活動を「新たな農地利用の最適化」活動の起点として位置付けて取組もう
- ・現場での活動状況を農業委員会で共有するため、活動記録を積極的に記帳しよう
- ・農地パトロールや戸別訪問等を通じた農地の実態把握と農業者の意向把握に、タブレット端末も活用しながら取組もう
- ・「目標地図」の素案作成に全力をあげて取り組むとともに、地域での話合いに積極的に参画しよう
- ・新規就農者や規模拡大を希望する者の情報を収集するとともに、あっ旋できる農地の確保に努め、受け手と出し手のマッチングを積極的に進めよう
- ・農地中間管理機構と農地の利用意向等の情報を共有し、農地の集積・集約化に結びつけよう

3 農業委員会活動の充実・強化

- ・農業委員会活動の点検・評価を的確に行い、活動内容の見える化を更に進めるとともに、その結果を公表し、農業委員会活動への周知と理解の向上に努めよう
- ・農業委員会活動を支える農地利用最適化交付金を積極的に活用しよう
- ・新規就農者や女性農業者を含めた意欲ある担い手を支援しよう
- ・地域の実情を踏まえた政策提案活動に取り組もう

令和6年3月27日

一般社団法人愛知県農業会議臨時総会